様式第１号（第１０条関係）

2023（令 5）年度業務実績報告書

提出日　　2024（令 6）年 1 月 26 日

１．職名・氏名　　教授　清水葉子

２．学位　　学位　修士、専門分野　経済学、授与機関　京都大学、授与年　1994 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
金融論（4 単位）配当年次　2 年生

② 内容・ねらい
金融の基礎的な理論と、経済社会の中での金融の意義を理解する。金融の実際の制度や仕組みについて体系的に学び、理論に加えて、制度・歴史の知識の両方を深めることを目標とする

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
講義に際して、毎回のテーマごとに理解すべきポイントを記した「講義メモ」と、それを裏付ける具体的事実（統計資料や報道など）を集めた「資料」を配布。学生には、毎回のポイントが理解できたかどうか確認しながら受講するよう指示。

2023 年度は、学外業務のためオンデマンド配信による授業を 1 回行った。

年度初頭に感染の見通しがなく実務家招聘は中止、来年度からは復活予定。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）配当年次　3 年生

② 内容・ねらい
金融の基礎的な理解とともに、金融関連の現実的な問題をとりあげて議論。前期は主にテキストの輪読、後期は新聞や雑誌記事もとりあげ、学生にはゼミ中の積極的な発言・議論を求めている。
３年次後期に、「SMAP インターゼミナール・コンテスト」に参加し、グループワークとプレゼンテーションの力をつける。

④　講義・演習・実験・実習運営上の工夫
前期はテキストの輪読。後期は「課題の発見→問題意識の醸成→事実の調査→考察→結論・提言」という思考過程を辿れるよう指導。12 月の「SMAP インターゼミナール・コンテスト」での研究プレゼンテーションにつなげる。

4 年生が、後輩に就職活動の話をする「清水ゼミ　就活体験を後輩に話す会」を開催(2023.10)。

実務家講師の招聘として、
(a)原子力安全研究協会から講師を招聘し、原子力政策についての講義を 3 ゼミ合同で受講(2023.10)。
(b)特別講義「地域の現状と未来について」を共同開催し、近畿地方整備局、金沢国税局、北陸農政局から講師を招聘し受講(2023.6、2023.11)。
(c)近畿地方整備局の足羽川ダム見学に随行(2023.9)。

【ゲストスピーカー　　4 人】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習 II（4 単位）配当年次　4 年生

② 内容・ねらい
卒業論文・卒業研究について、(1)テーマ設定、(2)資料収集、(3)研究の方向の決定、(4)事前発表、(5)最終発表、(6)討論を行う。卒業研究発表は全てのゼミ生が行い、プレゼンテーション資料に基づいて 1 時間程度の卒業研究発表をすることを義務づける。学生が各自の関心を発展させて掘り下げた研究を行なうことを目標とする。

⑤　講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生の関心を発展させるよう支援を行う。卒業研究発表に向けて全学生に個別指導の機会を頻繁に設け、全員が卒業研究発表を行なった。
卒業研修は感染防止の観点から中止し、地域での活動で代替した。

(a)4 年生が、後輩に就職活動の話をする「清水ゼミ　就活体験を後輩に話す会」を開催(2023.10)。(重複記載)。
(b)ふくい女性活躍支援センターと「キャリアカフェ」を共同開催(2023.11)。
【ゲストスピーカー　　3 人】

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
基礎ゼミ（２単位）配当年次　２年生

② 内容・ねらい
経済学の基礎的な考え方を理解させるため、毎年特定のテーマをとりあげて、基礎文献→現実のテーマへと掘り下げる。
前年に続き健康保険制度を取り上げて、文献を輪読した後、保険料負担の公平性、高齢者医療制度のあり方、混合診療の是非、健康保険における逆選択などについて、資料検索やグループワーク、討論を行った。

③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫
テーマ選定にあたっては、事実関係に関する資料収集がしやすく、かつできるだけ賛否が分かれるものをとりあげることで、議論を促進するよう工夫している。資料は、制度の概観ができる基礎的な文献と、経済雑誌や新聞など時事的なものを両用するよう心がけている。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
外書講読（２単位）配当年次　２年生

② 内容・ねらい
Michael Sandel (2012), ”What Money Can’t Buy”を用いて、政治経済学の領域で意見が分かれやすいテーマをとり上げて翻訳と輪読。学生には著者の意見に対する賛否や根拠を示して議論してもらう。

④　講義・演習・実験・実運営上の工夫
ほぼ毎回、テキストに沿ったテーマを設定し、学生討論・グループワークを行なった。また著者や他大学等が公開しているオンライン上の講演を紹介し、学生の関心を喚起した。

(2) その他の教育活動

（内容）

４．研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書 【0 本】
② 学術論文（査読あり） 【0 本】
① その他論文（査読なし） ・「ダークプールでの HFT の取引」(2023.12)『証研レポート』1741 号、(公財)日本証券経済研究所 ・「SEC による最良執行ルール提案」(2023.6)『証研レポート』1738 号、(公財)日本証券経済研究所 ・「ホールセラーへの競争導入提案」(2023.2)『証研レポート』1736 号、(公財)日本証券経済研究所 【3 本】
② 学会発表等 【0 件】
③ その他の公表実績 （研究会報告） ・「ダークプールでの HFT の取引」（2023.8）証券経済研究会 ・「SEC による最良執行ルール提案」(2023.4)株式市場研究会 ・「リテールホールセラーへの競争導入提案」（2023.1）証券経済研究会 【3 件】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
委託研究費（20 万円）　（公財）日本証券経済研究所
(3)特許等取得
(4)学会活動等
証券経済学会会計幹事（2022 年～現在）

５．地域・社会貢献活動

（国の委員等）
水産庁　農漁業保険審査会委員(2021 年～現在)

（自治体の委員等）
福井県行財政改革推進懇談会座長(2022 年～現在)
福井県防災会議委員(2022 年～現在)
福井県公益認定等委員会委員(2020 年～現在)
福井県国土利用計画審議会委員（2019 年～現在)
福井県入札監視委員会委員(2011 年～現在)
福井県事業認定審議会委員委員(2011 年～現在)

（その他）
(公財)日本証券経済研究所 客員研究員(2003 年～現在)
FBC 番組審議委員(2013 年～2021 年)、委員長(2022 年～現在)

・公開講座「経済学・経営学はおもしろい！」高校生向けに経済学・経営学の面白さを伝える。AOSSA（2023.10）
・ふくい女性活躍推進センターと共同で「キャリカフェ」開催（2023.11 重複記載)。
・原子力安全研究協会から講師を招聘し、原子力政策についての講義を 3 ゼミ合同で受講(2023.10 重複記載)。
・特別講義「地域の現状と未来について」を共同開催、近畿地方整備局、金沢国税局、北陸農政局から講師を招聘(2023.6、2023.11 重複記載)。
・近畿地方整備局の足羽川ダム見学に随行(2023.9 重複記載)。

６．大学運営への参画

(1)補職
学科長(2023 年)
(2)委員会・チーム活動
時間割共通科目検討協議会委員(2023 年)
(3)学内行事への参加
高校向け入試説明（丹生高校）（2023.9） 高校の大学見学対応 探究学習　大野高校　（2024.3） オープンキャンパス登壇、動画撮影、オンライン交流会(2023.8 など) 高校教諭との懇談会（2023.8）
(4)その他、自発的活動など
・学生の自主的な学習・研究活動を支援する有志教員の活動 SMAP（Student Motivated Alternative Program）を通じた各種活動。12 月の「SMAP インターゼミナール・コンテスト」を通じた学生の研究プレゼンテーション支援を行なった。 ・「清水ゼミ　就活体験を後輩に話す会」で 4 年生が後輩に就職活動の話をする機会を設けた（2022.10）（重複記載)。